

＜東アジアにおける知の交流＞国際研究フォーラム（案）

主催：日本公益財団法人渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、文藻外語大学日本語文系、台湾大学日本語文学系、台湾大学日本研究センター

協賛：一般財団法人ワンアジア財団、公益財団法人交流協会、中鹿營造股份有限公司、台湾本田汽車股份有限公司、ケミカルグラウト株式会社、みずほ銀行台北支店（筆画順）

名義協賛：台湾日本人会、台北市日本工商会

時間：2016 年 5 月 21 日(土)9：00AM－17：00PM

会場：文藻外語大学

時間	プログラム	会場
8：30-9：00	受付	文藻外語大学 國璽會議廳至善樓 13F
9：00-9：10	開会式 周守民（文藻外語大学学長）、今西淳子(渥美財団常務理事)	國璽會議廳至善樓 15F
9：10-10：40	基調講演 1 西成彦（立命館大学教授） 「元日本兵の帰郷」 司 会 者 林淑丹（文藻外語大学日本語文系教授・学科主任） 基調講演 2 東山彰良（作家） 「台湾で生まれ、日本で書く」 司 会 者 范淑文（台湾大学日本語文学系教授・学科主任）	國璽會議廳至善樓 15F
10：40-11：00	休憩	
11：00-12：00	研究フォーラム テーマ 「越境・記憶・共生に向けた知の交流」 司会者 林立萍（台湾大学日本語文学系教授・日本研究中心副主任） パネリスト 西成彦（立命館大学教授） 土屋勝彦（名古屋学院大学教授） フェイ・阮・クリーマン（コロラド大学ボルダー校教授） 呉光輝(廈門大学日語系教授・学科主任)	國璽會議廳至善樓 15F
12：00-13：20	昼食（記念撮影）	至善樓 15F

13 : 30-15 : 10	論文発表 (発表 20 分、討論 5 分)				至善樓 12～13F 会議室	
	文学		言語・教育		歴史・文化	
	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	会場 F
	コメンテーター 陳明姿 台湾大学教授	コメンテーター 林水福 南台科技大学教授	コメンテーター 陳淑娟 東呉大学教授	コメンテーター 朱廣興 東呉大学教授	コメンテーター 何思慎 輔仁大学教授	コメンテーター 辻本雅史 台湾大学教授
	①発表者：林淑丹 (文藻外語大学教授) テーマ：生命と共同体の記憶—『檣山節考』の世界 ②発表者：頼衍宏 (銘伝大学副教授) テーマ：長屋王の変と『南齊書』	⑥発表者：黄意雯 (文藻外語大学副教授) テーマ：從銀鈴會同人誌看跨時代作家如何「跨越」 ⑦発表者：倉本知明 (文藻外語大学助理教授) テーマ：越境するディストピア—ポスト・フクシマにおける台湾の原発小説	⑫発表者：岩男考哲 (信州大学准教授) 仲潔 (岐阜大学准教授) テーマ：生徒たちが教科書で触れる「異文化間交流」 ⑬発表者：頼美麗 (文藻外語大学助理教授) テーマ：オーラルテキストにルーブリックを導入する試み	⑮発表者：董莊敬 (文藻外語大学副教授) テーマ：日本の政策文書におけるキャリア教育の言説 ⑰発表者：戴秋娟 (中国北京外国語大学副教授／日本朝日大学准教授) テーマ：中国から日本へ：中日両国間の高度人材の流動に関する考察	⑭発表者：李佩蓉 (文藻外語大学助理教授) テーマ：戦争責任再論—記憶的忘却、喚起與重建 ⑱発表者：李克揚 (文藻外語大学助理教授) テーマ：外國大權著眼福爾摩沙——探討台灣成為德國亞洲殖民目標之始末	⑩発表者：坂井洋 (台中科技大学兼任講師/静宜大学兼任講師) テーマ：植村正久の思想と蔡培火—伝道対象としての台湾人 ⑪発表者：金英美 (法政大学ポスドク) テーマ：韓国における基督教系大学の社会問題に対する活動
	コメンテーター 土屋勝彦 名古屋学院大学教授	コメンテーター 西成彦 立命館大学教授	コメンテーター 邱学瑾 台中科技大学教授	コメンテーター 王敏東 台湾科技大学教授	コメンテーター フェイ・阮・クリーマン コロラド大学ボルダー校教授	コメンテーター 楊素霞 政治大学副教授

	③発表者：解璜 （北京大学助理教授） テーマ：中国現代小品文学と明治文学—水野葉舟『響』を中心に	⑧発表者：石川隆男 （台湾大学講師） テーマ：張文環文学にみる保存的記憶—『山茶花』を例として	⑭発表者：方斐麗 （文藻外語大学助理教授） テーマ：日本語副詞「きっと」と「必ず」の文法機能に関する研究	⑳発表者：小高裕次 （文藻外語大学助理教授） テーマ：台湾で販売されている初学者用日本語教材における日本語発音の記述について	㉔発表者：黄馨儀 （中国文化大学助理教授） テーマ：NHK 朝の連続テレビ小説の台湾受容：『あまちゃん』のインタビュー調査を中心に	㉙発表者：李守愛 （義守大学副教授） テーマ：日本と台湾における「祭奠」儀式の伝承と現代的な発展について
	④発表者：劉妍 （北京外国語大学講師） テーマ：雑誌『改造』と中国—横光利一『上海』を通して	⑨発表者：謝惠貞 （文藻外語大学専案助理教授） テーマ：越境するノスタルジア—東山彰良『流』におけるアウトロー像を通して	⑮発表者：林琪楨 （文藻外語大学兼任助理教授） テーマ：東アジアにおける知の交流：授業実践報告—初級日本語学習者に対する「自他動詞」の指導について—	㉑発表者：李瑩瑩 （広州大学講師） テーマ：上代変体漢文における漢文助辞の破格と受容について——「矣」字を例として	㉕発表者：陳建源 （中興大学助理教授） テーマ：東亞大眾觀光裡的多元文化實踐：從士林官邸與蔣宋家族故事談起	㉚発表者：曾齡儀 （中央研究院台湾史研究所ポスドク） テーマ：宇治茶和台灣烏龍茶：三好德三郎與日台間茶交流
15：10-15：30	休憩					
15：30-16：45	文学		言語・教育		歴史・文化	
	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	会場 F
	コメンテーター 土屋勝彦 名古屋学院大学教授	コメンテーター 黄翠娥 輔仁大学教授	コメンテーター 陳美玲 東呉大学副教授	コメンテーター 黃幸素 義守大学副教授	コメンテーター 吳光輝 廈門大学日本語文系教授	コメンテーター 藍弘岳 交通大学副教授

	<p>⑤発表者：劉文娟 （青島科技大学講師） テーマ：川端康成「五拾錢銀貨」論</p>	<p>⑩発表者：蕭怡姍 （政治大学博士課程/中興大学通識教育中心兼任講師） テーマ：南島・趣味・旅行日治時期《台灣日日新報》國島水馬台灣行旅圖文—以《納涼八景》、《納涼八計》為例</p>	<p>⑬発表者：張汝秀 （文藻外語大学助理教授） テーマ：日本語会話授業のコース・デザイン—文藻外語大学日本語文系の会話授業を例として</p>	<p>⑳発表者：陳淑瑩 （文藻外語大学助理教授） テーマ：日本統治下における台湾原住民の歴史教育—「尊王論」を中心に</p>	<p>㉑発表者：鄧麗霞 （立命館大学博士課程） テーマ：大東亞電影”的演繹與破綻—以《支那之夜》與《莎韻之鐘》為中心</p>	<p>㉒発表者：蔡承豪 （国立故宮博物院副研究員） テーマ：流動、調査與詮釋：文溯閣四庫全書與「臺灣」</p>
			<p>⑰発表者：久保田佐和子 （文藻外語大学講師） テーマ：横断的に見た文藻外語大学日本語学習者の発話習得状況—アーティキュレーションを考慮点として—</p>	<p>㉓発表者：石川清彦 （屏東大学講師） テーマ：日本語ディベートへの批判的考察</p>	<p>㉔発表者：野口真広 （早稲田大学次席研究員） テーマ：植民地台湾と自治—自律的空間への意思—</p>	<p>㉕発表者：番匠健一 （立命館大学生存学センター研究員） テーマ：日本統治期台湾における「植民論」と Settler Colonialism：後藤新平と高岡熊雄の関係に着目して</p>
<p>ポスター発表 （展示時間） 9:10-16:50 （発表時間） 16:25-16:50</p>	<p>【日本語教育実践報告】 会場 G</p> <p>発表者：黄思璋 テーマ：台湾における日本語のアクセント句の学習についての一考察 発表者：趙英美 テーマ：The relationships between the Korean wave and Korean language learning in Taiwan. 発表者：郭雅芬 テーマ：反転授業の試み—文藻外語大学専科部二年生の“日本語二”での試み 発表者：童鳳環 テーマ：「暗誦」が第二言語習得における位置づけについて—文藻外語大学専科部一年生を対象に— 発表者：蔡燕昭 テーマ：遠距課程製作の問題點—以文藻進修部日文一(上)課程為例— 発表者：遲秀蘭 テーマ：情境教學法在日語教學之應用—以初級日語會話課程為例— 発表者：陳貞雯 テーマ：提升學生課室專注力之教學實驗—以初級日語文法課程為例—</p>					

16 : 50-17 : 00	閉会式	國璽會議廳至善樓 15F
-----------------	-----	--------------